

第6学年外国語活動指導案

日 時 平成25年11月25日(金) 5校時
児 童 6年生(男10名 女13名 計23名)
指 導 者 熊 谷 大 輔 (花巻市立太田小学校)
共同研究者 小 椋 孝 史 (花巻市立湯本小学校)
伊 藤 恵美子 (花巻市立東和中学校)

1 単元名 Lesson6 What time do you get up? 1日の生活を紹介しよう

2 単元について

平成20年3月28日に小学校学習指導要領の改訂が告示され、平成23年度からは、小学校5・6年で週1コマ外国語活動を実施することになった。この外国語活動においては、音声を中心に外国語に慣れ親しませる活動を通じて、言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、コミュニケーション能力の素地を養うことが目標とされている。

本単元では、“What time is it?”という表現が登場する。また、“What time do you ~?”という表現を用いて、相手に起床や登校、就寝など生活の時刻を尋ねたり、自分の生活の時刻を答えたりしていく。更に、これらの表現をもとに、世界には時差があることに気付かせ、世界の様子への興味も膨らませていく。これまでの活動をもとにして、単元終末では、“Who am I?”クイズを設定した。グループ(班)のメンバーの1日を紹介するクイズを出題するという活動を設定し、学習を進めていく。

3 児童について

児童はみな素直である。6年生として学習や生活、行事に意欲的に取り組んでいる。学級の傾向として、幼い頃からの同一集団のため、人間関係の固定化や相手への興味が沸きにくいという課題を抱えている。

外国語活動の授業には、5年生の時から関心を持って臨んでいる。しかし、意欲については、活動の中身によって差がある。日本と外国の違いに気づく、外国の文化を知る、ゲームに取り組むというような活動にはとても積極的であるのに対して、コミュニケーションを通じた活動は苦手としている。具体的には、「みんなの前で話すことを恥ずかしがる」「インタビュー活動では同性や同じスポーツ少年団の友達としか会話をしない」といった姿が見られる。全体的に、声の小さいことや周りの様子を伺いながら活動するという面があることも課題である。それらの課題からジェスチャーにも消極的で、その良さを感じることも少ない。

事前アンケートの結果では、外国語活動があまり好きではない児童もおり、自分は進んで授業に参加していないと感じている児童も多く見られた。また、外国語のゲームは楽しいと思っはいるが、会話することや英語を使って意見を言うことには楽しさを感じていない児童がほとんどであり、コミュニケーション活動の楽しさをどのように味わわせるかがやはり大きな課題であることが明らかとなった。

4 指導について

本単元では“**What time~**”を使って時刻を尋ねたり、“**What time do you~**”を使って、生活の時刻を尋ねたりすることが活動の中心となる。“**What time do you~**”の表現では~に続く様々な動詞を英語で話すことになる。そのため、動詞の発音練習にも十分時間をとりたい。

そのうえで、児童の実態から、“**What time is it?**”や“**What time do you ~?**”という表現に親しんだり、話したりという場を多く設定したい。その際、考慮したいことは、児童の人間関係から、「何時に登校しているか」「就寝しているか」は既に知り得ていたり、予測できたりする情報なので「誰がNO1だろう」や「自分と同じ時刻の友達を探そう」などの声かけにより、いろいろな質問をする必然性につなげることで新たな面の発見につながることを期待して活動を取り入れていきたい。

振り返り場面では、カードを活用して、単位時間ごとの活動を想起させ、その時間の感想も書かせたり、発表させたりしながら有効に活用したい。

5 単元の目標

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

積極的に自分の1日を紹介したり、友達の1日を聞き取ったりしようとする。

【外国語への慣れ親しみ】

生活を表す表現や、1日の生活についての時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。

【言語や文化に関する気付き】

世界の様子や生活様式に興味を持ち、世界には時差があることに気付く。

6 単元計画（5時間）

	主な活動内容	評 価				
		コ	慣	気	評価規準	評価方法
1	動作や時刻の言い方を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ナンバーゲーム ・何時か当てよう ・Let's listen1 ・ジェスチャーゲーム ・おはじきゲーム ・チャンツ 			○	英語と日本語では言葉の使い方が違うことに気付いている。	行動観察 振り返りカード
2	動作や時刻の言い方に慣れ親しむとともに生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ナンバーゲーム ・メモリーゲーム ・Let's listen2 ・先生の1日を予想しよう ・チャンツ 		○		動作や時刻を言うための表現を知り、聞いたり言ったりしている。	行動観察 振り返りカード
3	生活を表す表現やその時刻を尋ねる言い方に慣れ親しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ナンバーゲーム ・チャンツ ・Let's listen3 ・ステレオゲーム 		○		生活を表す表現に慣れ親しむとともに、世界には時差があることに気付き、世界の様子に興味を持っている。	行動観察 振り返りカード
4 (本時)	生活を表す表現やその時刻を尋ねる言い方に慣れ親しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツ ・ラッキーカードゲーム ・チェーニングゲーム ・友達の生活時刻を知ろう（インタビュー） ・世界の生活と比べよう 		○		友達へのインタビューを通して、生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れ親しんでいる。	行動観察 振り返りカード
5	世界には時差があることに気付くとともに相手に伝わるように” Who am I?” クイズに取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツ ・Who am I?クイズをしよう ・自分の1日と外国の時刻をつなごう 	○		○	相手に伝わるように” Who am I?” クイズに取り組んでいる。	行動観察 振り返りカード

7 本時の指導

(1) 目 標 生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。

(2) 展 開

過程	児童の活動	H R T の活動	・指導上の留意点 ◎評価の観点 (方法)
導 入	<p>【Warming up!】</p> <p>1. あいさつをし、見通しを持つ。 Good afternoon. Mr. KUMAGAI I'm fine/happy/hungry/sleepy.</p> <p>2. 本時の活動を確認する。 【Today's theme】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>友達に1日の生活を聞いてみよう!</p> </div> <p>【Let's Chant】</p> <p>3. ♪チャンツをし、前時の復習をする。 “What time do you get up?”</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気であいさつをする。 Hello, how are you? ・天気や日付についても聞く。 How's the weather today? What day is today? What time is it? ・児童と一緒にチャンツをする。(ジェスチャーをつけながら) 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶をした後、友達同士であいさつをするよう促す。 ・生活に関係のある表現を用いて、児童とかけあう。 ・本時の学習の流れを板書しておき確認する。 ・時刻に変化をつけながら言ってみる。
展 開	<p>4. ペアで生活時刻をたずね合う。 ・ラッキーカードゲームをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が“What time do you～?”とペアに尋ね、“I get up at ～”と答える形でゲームをさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・“get up” “go to bed”についてカードを引きながら会話をさせる。
展 開	<p>5. グループで輪になり、生活時刻をたずね合う。 ・チェーンゲームをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カードを引いた児童が“What time do you～?”と尋ね、となりの児童が“I get up at ～”と答える形でゲームをさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第5時の“Who am I?”クイズで、班のメンバーのクイズを出題することを意識させる。
展 開	<p>6. 友達の生活の時刻を知る。 ・教室内を歩き、友達に生活の時刻についてインタビューする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達へのインタビューを通して、“What time do you～?” “I get up at ～”などの表現に親ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分と起きる時刻も寝る時刻も同じ人を見つけよう」という目的を与えることで、取り組みに必然性を持たせる。 ◎生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れ親しむことができたか <行動観察・カード>
ま と め	<p>7. 振り返りをする ・本時の学習を振り返り、カードを記入する。</p> <p>8. 世界の日と比べる。 ・今起きた人、今寝た人がいるだろうかを予想する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー活動について振り返りをする。 ・時差時計で確認し、その国の映像を見せたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記入の視点を与え、活動の中でのコミュニケーション活動がどうだったかについても振り返らせる。 ◎めあてについての頑張りや意欲を評価する <振り返りカード>

			<ul style="list-style-type: none"> ・時差時計は前時に作成しておいたものを活用する。 ・映像を見せるため世界の窓 (www.sekainomado.com) を利用する。
挨拶	<p>9. あいさつをする。 Good-bye. See you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次時の予告をし、あいさつをする。 <p>Good-bye. See you.</p>	